

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 日米協議委員会（協議委設置関係）（I）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): 南方連絡事務所, 対沖縄援助, ケネディ大統領, 対沖縄支援に関する日米協定案, 交換公文 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43694

沖繩援助に關する各省連絡會議

秘

事務次官 条約局長 アメリカ局長 アジア局長
 外務審議官 参事官 参事官 参事官
 官房長 法規課長 北米課長 北東アジア課長
 官房総務参事官

沖縄問題に関する各省連絡会議
 の設置について

37-7-9 亜審

1. 7月7日 総理府大行特使局長は 本官を来訪し、

総務長官の意向を確かめた上の話であるとして、

外務省の本件に関する意見を求めたので、本官として

は上司の意向を伺った上でなければ、外務省とい

の意見を述べるわけには行かないが、私見では

(1) 沖縄問題に関する日米交渉は 外務省の専

管事項であるが、交渉に至るまでの政府部内に

GA-5

外務省

おける各自間の意見調整、殊に 沖縄関係助

置に関する事務のとりまとめは、総理府がやる

のが適当であらう。

(2) この会議の設置が 案内井によって報告される

際に 国の内外で誤解を起さぬよう注意し、

会議の名称はその目的にそつうなものとしたら

その趣旨を答えておいた。

2. 本日 総理府より、近日常に 事務次官会議に割

入を要し、その了承を得べく、その趣旨を以

て 各省との協議を始める旨申し述べた。

3. この案は適当と思われるので、本省としてはこれ

GA-6

外務省

7月10日 平下 次官

に賛成するものと預したい。

4. なおこの会議で未だ取上げるべき問題として、大

竹特産局長が持参した案は別添乙の副。 ✓

沖縄住民の福祉向上に協力するための
連絡会議について

昭和37年 月 日
(事務次官会議申し合せ(案))

6 前五項に定めるもののほか、連絡会議の運営に関し必要
な事項は、総理府総務長官が定める。

- 1 沖縄住民の福祉向上に協力するための主要事項を協議する
ため、連絡会議を随時開催する。
- 2 連絡会議は、総理府総務長官が主宰する。
- 3 連絡会議の出席者は、総理府総務長官及び次に掲げる者と
する。

総理府総務副長官

総理府特別地域連絡局長

内閣法制局第一部長

外務省アジア局長

大蔵省主計局長

自治大臣官房長

(会計検査院 第一局長)

- 4 連絡会議には、必要に応じて、前項以外の関係行政機関の
職員の出席を求めることができる。
- 5 連絡会議の運営に関する事務は、総理府特別地域連絡局に
おいて処理する。

別添
昭三十七

大竹特運局長持考、ハニキル生息見
沖繩に対する経済援助に關して検討を要する問題

1. 援助の性質に關する問題
2. 援助額或は援助割合に關する問題
3. 援助項目に關する問題
4. 長期援助計画に關する問題
5. 援助方法に關する問題
6. 資金交付に關する問題
7. 会計年度に關する問題
8. 会計検査に關する問題
9. 補助金に係る予算の執行の適正化に關する法律に關する問題
10. 援助に關する日琉間覚書交換の現行方法に關する問題
11. 援助要請の時期、方法及び日本側調査、査定に關する問題
12. 援助に対する代償に關する問題

わが方のコミニ
メントはルネ
サブルグエー
ト

米国の施政者としてあるべき人々の、通常国の事
務に於ては、我々が勿論、従同様の標準に、一にその援助し方
一可なりとし、
援助項目毎にその方針、決定基準は、下に、
のコメントに述べた、また、必要者に関するわが方
見解に示す。

外資の動向

13. 援助に付すべき、その他の条件に關する問題
14. 援助拡大に伴う南連事務所の問題
15. 援助に關し、日米琉懇話会の組織、機能に關する問題
16. 援助立法を要するか、ヤレカカト
17. 援助に伴い技術指導を行う場合の身分、給与に關する問題
18. 援助に關し日米取極の内容と形に關する問題
19. 米側五年計画の取扱
20. 米側援助と、施政権返還の際の日本の債務に關する問題

米側も現段階
では、わが方
の、その、
非公式に、
確信。

12. 一括して
考へること。
援助措置を
履き、上付
考へる。

10. 同様に
外資有と考へる。

アジア局長

宇山審議官

総務参事官

北東アジア課

総特連第865号

昭和37年7月26日

作

外務省アジア局長 殿

総理府総務長官 徳 安 実 蔵



沖繩住民の福祉向上および経済開発に関する

援助についての連絡会議(昭和37年7月26日

日事務次官等会議申合せ)の開催について

標記について、第1回会議を7月27日(金曜日)12時

30分から丸の内ホテル9階菊の間(電 231 ~ 0271)

において開催いたしますから、御出席下さるようお願いしま

す。

なお、昼食を用意いたしておりますので申し添えます。

了りつたか
その中
の
こと
を
御
返
事
を
願
い
ま
す
。

加

① 本件は全容の了解あり、この了解終了後

総務課、検査課(検査課)、外務省、大蔵省、自衛隊)の六者が詳述し

分科会を行ふ趣いす

作



秘

琉球諸島開発計画のうち資金不足部分
1964~68年度

	Item	Total	Funded	Unfunded
1	模範農場	360	155	205
2	農業試験研究	1,260	980	280
3	種畜場	325	185	140
4	家畜保健、防疫	560	520	40
5	漁港施設	700	200	500
6	漁業調査普及	460	300	160
7	農林漁業中央金庫	19,000	11,500	7,500
8	漁船建造基金特別会計	500	-	500
9	航海標識	435	115	320
10	輸送船建造基金	740	290	450
11	土地及び境界調査	3,560	65	3,495
12	森林開発	2,040	1,165	875
13	国土保全(山地、河川)	1,425	125	1,300
14	腰岸建設保全	7,340	3,590	3,750
15	農地開発(特別会計)	3,350	2,350	1,000
16	農道施設	2,500	1,750	750
17	道路、橋梁建設保全	7,480	4,855	2,625
18	港湾建設保全	2,200	1,200	1,000
19	都市開発	5,800	3,000	2,800
20	高層気象観測所補給及び設備	625	25	600
21	その他測候所施設	2,080	390	1,690
22	マイクロウェブ備品及び施設	235	-	235

23	健康保険	4,060	3,165	895
24	退職手当制度	13,155	10,535	2,620
25	児童福祉事業	1,070	925	145
26	身体障害者の福祉	355	210	145
27	福祉施設の運用	2,150	1,860	290
28	医療施設	2,275	1,980	295
29	病気対策	7,090	6,810	280
30	医療補給と施設	1,115	770	345
31	医療施設維持	500	225	275
32	結核患者の日本への入院	875	0	875
33	刑務所施設	925	580	345
34	公立学校職業教育施設	2,185	1,960	225
35	教科書参考資料	725	475	250
36	奨学資金	735	300	435
37	文化財関係事業	775	435	340
38	日本政府奨学金計画	465	-	465
39	日本における一般的訓練	125	-	125
40	日本における教育訓練	100	-	100
41	日本における保健、福祉訓練	135	-	135
42	日本における医科予科本科生訓練	415	-	415
43	日本からの医師、歯科医の招へい	825	-	825
44	教育ガイダンス	245	-	245
45	一般的技術指導	200	-	200
計		103,452	62,967	40,485

(37,243) (22,668) (14,575)
百万円 百万円 百万円

TABLE 1 - A
 SELECTED ECONOMIC INDICATORS
 FY 1961 - FY 1968
 (In Millions of Dollars, Unless Otherwise Noted)

	FY 1955	FY 1956	FY 1957	Actual FY 1958	FY 1959	FY 1960	FY 1961	Average Annual Rate of Increase FY 1955-61 (Percent)
Gross National Product	131.3	142.1	157.4	166.7	175.0	199.0	227.8	9.7
National Income	117.3	126.7	135.6	144.6	155.4	175.6	209.2	10.2
Population (Thousands of Persons)	786	801	819	834	852	870	883	2.0
Per Capita Income (In Dollars)	149	158	166	173	182	202	237	8.1
Industry Income								
Primary	32.6	29.1	24.5	29.5	31.0	26.3	37.3	4.2
Secondary	11.7	14.2	17.8	18.9	20.2	21.2	28.0	16.2
Tertiary	73.0	83.4	93.4	96.2	104.2	128.1	143.9	12.1
(Exclude land payments)	(71.5)	(82.3)	(88.3)	(93.1)	(100.1)	(117.3)	(127.4)	10.2
Employed Workers (Thous. of persons) ^{1/}	N/A	336	343	359	373	382	393	3.2
Primary	N/A	182	189	188	192	186	178	0.8
Secondary	N/A	31	34	38	40	40	50	10.4
Tertiary	N/A	123	120	133	141	156	165	6.1
Average Worker Income (In Dollars)	N/A	337	395	403	417	460	532	9.7
Primary	N/A	160	130	157	161	141	210	7.0
Secondary	N/A	458	524	497	505	530	560	4.3
Tertiary	N/A	678	778	723	739	821	872	5.3
(Exclude land payments)	N/A	(669)	(736)	(700)	(710)	(752)	(772)	3.0

^{1/} Data for FY 1956 and FY 1957 were based on population 14 years of age and over. For succeeding year data were based on population 15 years of age and over.

Source: Office of the High Commissioner, Office of the Comptroller.

Prepared 28 June 1962

TABLE 1 - B
 SELECTED ECONOMIC INDICATORS
 FY 1961 - FY 1968
 (In Millions of Dollars, Unless Otherwise Noted)

	Actual	Projected							Average Annual Rate of Increase of FY 1963-68 (Percent)
	FY 1961	FY 1962	FY 1963	FY 1964	FY 1965	FY 1966	FY 1967	FY 1968	
Gross National Product	227.8	256.8	288.7	328.4	370.7	423.0	484.0	554.2	13.9
National Income	209.2	224.8	252.5	285.3	323.8	369.2	422.2	483.2	13.8
Population (Thousands of Persons)	883	900	914	928	942	957	970	985	1.5
Per Capita Income (In Dollars)	237	250	276	307	344	386	435	491	12.2
Industry Income									
Primary	37.4	41.0	39.6	42.2	45.1	48.1	51.3	54.8	6.7
Secondary	28.0	32.0	338.1	45.5	54.3	64.8	77.3	92.3	19.3
Tertiary	143.8	151.8	171.8	197.6	221.4	256.3	293.6	336.1	11.0
(Exclude land payments)	125.7	142.5	166.3	191.6	220.4	253.3	290.6	333.1	14.9
Employed Workers (Thous. of persons)	393	396	405	417	430	444	456	470	3.0
Primary	178	167	153	140	125	120	120	120	-4.6
Secondary	50	54	61	69	78	85	90	96	9.5
Tertiary	165	175	191	208	227	239	246	254	5.9
Average Worker Income (In Dollars)	532	568	623	684	753	831	925	1,028	10.5
Primary	210	243	259	301	361	401	428	457	12.1
Secondary	560	593	625	659	696	762	859	961	8.9
Tertiary	872	867	915	950	989	1,072	1,193	1,323	7.7
(Exclude land payments)	762	814	871	921	971	1,059	1,181	1,311	8.5

Source: Office of the High Commissioner, Office of the Comptroller

Prepared 28 June 1962

TABLE 2 - A
 SELECTED ECONOMIC INDICATORS
 FY 1955 - FY 1961
 (In Millions of Dollars, Unless Otherwise Noted)

	FY 1955	FY 1956	FY 1957	Actual			FY 1961	Average Annual Rate of Increase FY 1955-61 (Percent)
				FY 1958	FY 1959	FY 1960		
Gross National Expenditures	131.3	142.1	157.4	166.7	175.0	199.0	227.8	9.7
Personal Consumption	100.4	106.2	111.5	122.0	127.6	137.2	151.8	7.2
Food	53.8	54.6	53.0	56.6	57.3	59.3	65.1	3.3
Other	46.6	51.6	58.5	65.4	70.3	77.9	86.7	10.9
Government Consumption	9.9	11.1	12.8	15.5	17.4	21.5	23.3	15.5
Gross Capital Formation	16.7	22.0	37.0	41.8	39.4	47.4	60.6	25.9
Private Capital Formation	12.1	16.3	30.6	31.6	31.6	39.2	49.0	29.1
Government Capital Formation	4.5	5.7	6.5	10.2	7.8	8.2	11.6	15.7
Net Exports of Goods and Services	4.4	2.8	- 3.9	-12.6	- 9.4	- 7.2	- 8.0	-
Population 15 years old and over (Thousands of Persons)	N/A	492 ^{1/}	493 ^{1/}	494	503	512	517	1.0
Labor Force Population (Thousands of Persons)	N/A	343 ^{1/}	351 ^{1/}	363	379	388	397	3.0
Completely Unemployed (Thousands of Persons)	N/A	7 ^{1/}	8 ^{1/}	5	5	5	4	-
Per cent of Labor Force	N/A	2.0	2.3	1.4	1.3	1.3	1.0	-

^{1/} Data for FY 1956 and FY 1957 were based on population 14 years of age and over. For succeeding year data were based on population 15 years of age and over.

Source: Office of the High Commissioner, Office of the Comptroller

Prepared 28 June 1962

TABLE 2-B
 SELECTED ECONOMIC INDICATORS
 FY 1961 - FY 1968
 (In Millions of Dollars, Unless Otherwise Noted)

	Actual	Projected							Average Annual Rate of Increase FY 1963-68 (Percent)
	FY 1961	FY 1962	FY 1963	FY 1964	FY 1965	FY 1966	FY 1967	FY 1968	
Gross Expenditures	227.8	256.8	288.7	328.4	370.7	423.0	484.0	554.2	13.9
Personal Consumption	151.9	169.3	186.6	208.1	230.9	259.2	292.2	330.2	12.1
Food	65.1	70.8	75.6	81.6	87.9	95.8	104.9	115.4	8.8
Other	86.8	98.5	110.0	126.5	143.0	163.4	187.3	214.8	14.3
Government Consumption	23.3	28.7	33.7	39.8	46.3	54.3	63.7	74.5	17.2
Gross Capital Formation	60.6	77.1	96.0	110.7	127.5	146.1	169.2	194.4	15.2
Private Capital Formation	49.0	(Not Available to date)							
Government Capital Formation	11.6	(Not Available to date)							
Net Export of Goods and Services	- 8.0	-18.3	-27.6	-30.2	-34.3	-36.6	-41.1	-44.9	-
Populations 15 years old and over (Thousands of Persons)	515	520	533	549	566	585	602	620	3.1
Labor Force Population (Thousands of Persons)	397	400	409	421	434	448	460	474	3.0
Completely Unemployed (Thousands of Persons)	4	4	4	4	4	4	4	4	-
Per cent of Labor Force	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	-

Source: Office of the High Commissioner, Office of the Comptroller.

Prepared 28 June 1962

宇山審議官

総務参事官

北東アジア課

沖縄援助に関する連絡会議 分科会

127117

13 7/11

本件 8月7日(火)の会議は、当初の議題を変更して、第一次調査団参加者の口頭による報告を受けたことになった。よって、大竹特連局長から、外務省宇山審議官においても、発言事項がある場合は、同分科会に出席方の要請があった。

なお、同日の分科会は、午後一時から霞会館において開催された。

秘

沖縄に対する援助の目的

1. 援助の目的

沖縄が日本に復帰する場合にはその施行が円滑に行われるために、行政水準を本土相当地域まで引き上げ、併せて住民の所得の向上を図ることを目的として援助を行なうものとする。

37

1

9

C. 2. 援助の額

前項の目的を達するため援助の額は、次の方式により算出された額とする。

$$\left(\begin{array}{l} \text{本土相当地域なみの行政水準を維持するため} \\ \text{必要な経費} \end{array} \right) \text{ A} \quad \text{---} \quad \left(\begin{array}{l} \text{標準的税収入額} \\ \text{B} \end{array} \right)$$

A..... ① 本土相当地域における国政事務費及び国の事業費（直轄事業、財政投融资による事業等を含む）で、住民の福祉向上及び経済発展に関するもの。

② 本土相当地域の県及び市町村の基準財政需要額の合計。✓

③ 本土相当地域の水準に達するために必要な事業で、住民の福祉向上及び経済発展に関するもの。

B..... 過去5年間に於ける税収入額を基礎とし、日本の税制を適用した場合における国税及び地方税の標準税収入額を考慮して定められた額。